【高校生授業】浜松湖北高生　地域企業を取材！

仕事のやりがい 企業取材で学ぶ

浜松湖北高生

浜松湖北高校（浜松市北区）の商業科の生徒が十一日、市内四カ所の事業所を訪れ、仕事のやりがいを取材した。二月中旬にブログで取材内容を報告する。

北区三方原町の工務店「マブチ工業」には生徒六人が訪れた。生徒が「チームの仕事で大切にしていることは」と質問すると、社員は「報告、連絡、相談。仮に仕事でミスをしたとしても、会社に連絡をしていれば助け合うことができる」と丁寧に答えていた。

地元企業を取材する高校生たち＝浜松市北区三方原町のマブチ工業で

地元企業の活動に親しんでもらおうと、LPガス販売エネジン（中区）の協力で毎年続けている取り組み。記事は、同社のブログサイト「エネフィブログ」で公開する予定。（小佐野慧太）

エネジンの社員が講師をしている授業の一貫で、浜松湖北高校の生徒が地元の企業を取材しました。

高校生が企業と直接話をする場をもつことで、仕事について考えるきっかけになると　同時に、地元の企業を知ってもらい、魅力を発信することで地域活性化に繋げることが出来る取り組みです。

随時更新される高校生の取材記事を載せたブログサイト『 エネフィブログ 』をぜひご覧ください！

令和5年(2023年)1月12日(木)

中日新聞